

タイトル	2023 年度 学校推薦型選抜 共同教育学部（保健体育専攻） 面接・小論文問題
評価の ポイント	<p>（面接） 教育および保健体育に関する基本的知識や課題に対する思考力、判断力、表現力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題に対する基礎的知識と理解度 ・ 論理性 ・ 表現力 ・ 将来性（大学の学びに対して意欲的であるか） <p>（小論文） 保健体育授業で目指すことに関する総合的な思考、工夫等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健体育授業を通じて目指すことについて、スポーツ・運動の技能以外に2つ回答しているかどうか。 ・ 保健体育授業で教える際に、どのような工夫ができるかについて、上記の2つそれぞれに回答しているかどうか ・ 上述の工夫は、具体的で適切であるかどうか。 <p>【解答例】 保健体育授業を通じて、児童生徒の技能を育成するだけでなく、仲間と協力する心を養うことができると私は考える。集団競技では、良いパフォーマンスを発揮し得点するために仲間との協力が必要だというのは容易に想像できるが、個人競技でも自己記録を更新する上で、友人らからのフィードバックが重要となる。保健体育授業で教える際にこれを促すためには、児童生徒を数人単位の小グループに分けて、課題に取り組みせることが有効だと考える。ICT 機器を用いれば、児童生徒自らが課題を明確にしてフィードバックできるため、仲間と協力することをより意識づけられると考える。</p> <p>また、スポーツや運動に親しむ態度の育成も、保健体育授業を通じてできることだと私は考える。児童生徒がスポーツ・運動が嫌いになってしまうと、その育成は妨げられてしまう。したがって、保健体育授業では、児童生徒の技能レベルに応じた課題を設定することが必要だといえる。どのような技能レベルであってもスポーツ・運動の実施方法や楽しみ方があるということを児童生徒自身が学べば、スポーツや運動に親しむ態度が身につく、ひいては児童生徒の豊かなスポーツライフの形成に貢献できると考えられる。</p> <p>以上のことに留意し、保健体育授業を通して児童生徒のスポーツ・運動の技能のみならず、仲間と協力する心や運動に親しむ態度を</p>

育成することで、児童生徒の生涯を豊かにできるような教師を、私は目指したい。

(597 字)